



# 市議会だより



竹川竹斎に学ぶ（射和小学校）



パッカー車体験（徳和小学校）



地域の人の指導で田植え（南小学校）

## 2月定例会（2月23日～3月25日）開催

平成21年度松阪市一般会計予算（骨格予算）並びに特別・企業会計予算を可決

### 主な掲載内容

- 2～9ページ …… 一般質問
- 10～12ページ …… 常任委員会の審査
- 12～13ページ …… 2月定例会・4月臨時会で決まったこと
- 14ページ …… 議会のうごき・5月定例会日程・議会放映・編集後記

# 一般質問

(発言順)



高志 濱口 議員

(ネクスト松阪)

## 校庭芝生化について

**問** 昨年、「発見！人間力」(注)というテレビ番組で、「だって気持ち良いんだもん！自分たちの力による校庭芝生化！」という特集を見た。日本では芝生の維持管理に多額の費用がかかるが、安く簡単に管理できる方法として、「鳥取方式」というものが提唱された。この鳥取方式では、地面に50センチ間隔に穴をあけて、ポット状の芝の苗をその中に入れ込んでいくというもので、芝生は1週間で20センチほど成長するタイプトーンという品種を使っている。実際に採用された小学校での聞き取りでは、小学校3・4年生全員が50メートル走で10秒を切り、去年に比べて2秒速くなったとの効果が報告されている。また、雨が降っても割とすぐ運動場が使えるとか、風が吹いても砂ぼこりが舞わないというメリットもある。このように、コストがかからず、教育面、健康面、環境面に効果

がある校庭芝生化について、松阪市で採用する予定はないのか。

**答** 教育委員会としても、この鳥取方式に注目しており、職員2名が鳥取市へ視察に行ってきた。今後、学校現場等の意見を聞きながら、校庭の芝生化について調査研究を進めていきたいと考えている。

**問** まずはPTA・地域住民・児童が意欲的な学校で、テスト的にやってみてはどうか。小学校・中学校より幼稚園のほうが園庭が狭く、また、園児が芝生の上を裸足で走り回る光景は微笑ましく思えることから、テストに適用していると思うがどうか。

**答** 教育的な効果も大きく、幼稚園2園ぐらいで、公募型でスタートしたいと思っている。

### その他の質問事項

- ・ 副市長の公募について
- ・ 雇用対策について



芝生って気持ちいい！

(注) 番組HP <http://minkyo.or.jp>



今井 一久 議員

(日本共産党)

## 山中新市政は、市民の願いにどうこたえるのか…命を一番に、痛みにくたえる市政について

**問** 地方自治体の役割は。

**答** 憲法第25条が示す生存権の保障、この重みは非常に大きいと思っ

ている。松阪市としては、本当に命にかかわる部分、痛みにかかわる部分に関しては、国や県の制度が悪いということをお願いしたいと思っ

ている。日本で一番命が守られるまち、痛みがしっかりと守られるまちにしていくためには、松阪市独自の施策形成に優先順位を持ってしっかりと予算の配分を行い、松阪市独自の役割として行う部分がある。

**問** 障がい者などへの入院食事代の助成が廃止されたが復活は。

**答** 改めて前向きに議会に対して提言させていただきたい。

**問** 肉付け予算の中で、前向きな話が出されるのか。

**答** 前向きに肉付け予算でかわっていききたいと思っ

ている。

**問** 小学校卒業までの医療費の無料化は、いつ実施されるのか。また、そ

## こどもを取り巻く現状と対策

こどもを取り巻く現状と対策

の財源はどうするのか。

**答** 4年以内には必ず小学校6年生までの医療費無料化を実現させたい。他の財源との兼ね合いなど、肉付け予算において前向きに検討させていただきます。

**問** 肉付け予算で何歳までされるのか。

**答** 少なくとも肉付け予算の中で何かしらの方法は打ち出したい。

**問** 公立保育園の民営化はやめるべきだと考えるが、市長の考えは。

**答** 答申に沿った説明会でなく、意見聴取会で地域住民の意見を謙虚に聞かせていただき、改めて松阪市の方針をしっかりと立てていく。

**問** 住民、保護者の皆さんの合意がない場合、民営化は進めないか。

**答** 地域住民、保護者の方々の理解が全体として得られない場合は、民営化を進めていくべきではない。

**問** 住民、保護者の皆さんの合意がない場合、民営化は進めないか。

**答** 地域住民、保護者の方々の理解が全体として得られない場合は、民営化を進めていくべきではない。

**問** 住民、保護者の皆さんの合意がない場合、民営化は進めないか。

**答** 地域住民、保護者の方々の理解が全体として得られない場合は、民営化を進めていくべきではない。

**問** 住民、保護者の皆さんの合意がない場合、民営化は進めないか。

**答** 地域住民、保護者の方々の理解が全体として得られない場合は、民営化を進めていくべきではない。

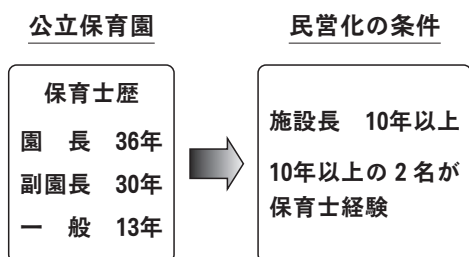
**問** 住民、保護者の皆さんの合意がない場合、民営化は進めないか。

**答** 地域住民、保護者の方々の理解が全体として得られない場合は、民営化を進めていくべきではない。

**問** 住民、保護者の皆さんの合意がない場合、民営化は進めないか。

**答** 地域住民、保護者の方々の理解が全体として得られない場合は、民営化を進めていくべきではない。

## 民営化でベテラン保育士がいなくなる



その他の質問事項

- ・ 地域救急医療と自治体病院



松田 千代  
議員

(日本共産党)

交通弱者施策について

問 市長は、松阪市内の多くの地域が生活の足に困っている中で、各地域における路線バスの充実と、不採算地域には利用者の求めに応じられる小型のデマンドバスの運行に補助して、地域の足を守ると約束されているが、これまでの市の取り組み以上に進んだ取り組みをしていこうという考えはあるのか。

答 松阪市が市民の足を守る。このような意識で、今後、交通弱者に対する施策に取り組んでいきたい。意見 利用者の求めにに応じられるバスを走らせていただきたい。

災害時要援護者施策について

問 市長は、地域における一人暮らし高齢者や障がい者など、災害時に最優先で援護を必要とする要援護者の情報をしっかりと管理し、発生時にはすぐに地域単位で対応ができるようにすると述べられているが、要援護者への対策は。

答 現在、市として要援護者の把握ができていない。今後は、要援護者対策、防災の部分に関し、

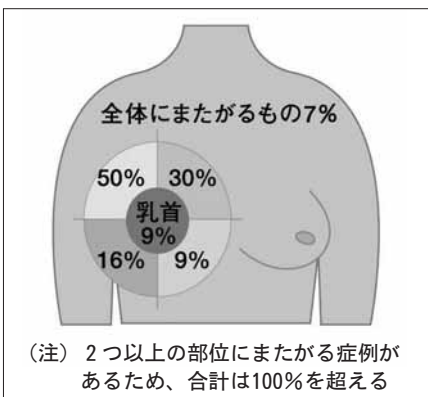
一元化の方向も図り、対応したい。

乳がん検診について

問 日本では乳がんにかかる女性が年々ふえており、今では年間約4万人の女性がかかるかと推定され、30才から64才の壮年層では、乳がんが死亡原因の第1位となっている。また、松阪市の受診率は4・8%で、県下で12位と受診率が低くなっている。今後、市民病院でもがん検診率を上げるため、マンモグラフィによる検診を積極的に行っていただくことを要望するが、そのような計画はあるのか。

答 受診率の向上を目指し、健康センター、医師会、健診センターと連携し、地域への啓発活動を積極的に行っていく。意見 病院で検査を受けると料金はね上がる。金銭的に軽減されるよう手立てを講じていただきたい。

乳がんのできやすいところ



市長は松阪の何を  
変えようとしているのか



竹田 哲彦  
議員

(日本共産党)

問 市長は「まっさかを変えなあかん」と選挙を戦ったが、松阪の何をどう変えていこうと考えているのか。マニフェストの表紙で『今の「しがらみ松阪市政」でいいですか？一人ひとりの「当たり前」を守ります。財政の厳しさを理由に、「いのち」にかかわる福祉、医療の費用が削られ、路線バスが十分に行き届かず、コスト削減のため保育園の民営化が検討されています。しかしその一方で、駅西開発においては約100億円計画が進められてきました。市民の声を生かさないホテル、マンションを中心としたハコものづくりだけの中心市街地活性化は、30年先の子ども世代にまで傷跡を残します。皆さんの税金からの「お金の使い道」の優先順位について、一緒に考えませんか。これが市長の松阪市を変えていく方向だと考えてもよいか。』

答 当然その思いで今も市政を行わせていただいている。市長のマニフェストの中で気に入った所は「財源がないことを理由に子育てにかかわる予算を減らすことは

できません」という思想。本当に財源問題というのは政治姿勢の問題だと思いが考えは。答 予算の編成に当たっては、縦割りで行うのではなく、予算の優先順位を明確にし、改めて再検討していく。

「まっさか」を、  
変えなあかん。  
変

今の「しがらみ松阪市政」でいいですか？  
一人ひとりの「当たり前」を守ります。  
財政の厳しさを理由に、「いのち」にかかわる福祉・医療の費用が削られ、路線バスが十分に行き届かず、コスト削減のため保育園の民営化が検討されています。しかしその一方で、駅西開発においては約100億円計画が進められてきました。市民の声を生かさないホテル・マンションを中心としたハコものづくりだけの中心市街地活性化は、30年先の子ども世代にまで傷跡を残します。皆さんの税金からの「お金の使い道」の優先順位について、一緒に考えませんか。

市民の願い実現には  
3億円で実現できる

問 松阪市の一般会計予算は約550億円だが、このうち5%くらいの25億円から30億円は市長の政策で融通するためには、このうちの4分の1から5分の1くらいの3億円から5億円あればよい。肉付け予算に多くを期待したいと思うがどうか。

答 3億円から5億円と、意外に現実的な数字を言っていたのだが、政策的に優先する部分については、職員と相談し、肉付け予算に反映させていきたいと思います。





永作 邦夫  
議員

(清志会)

経済不況について

企業・市民生活への影響と対策

問 アメリカ力発の金融不安からこの地方でも不景気感が広がり、消費の落ち込み・派遣社員等の解雇等の影響が出ているが状況は。

答 新制度として昨年10月31日から導入されたセーフティネット緊急保証制度の申請が2月18日までに369件と急増しており、うち208件、59億7000万円余が市内企業に融資されている。また、昨年末に国土交通省から通知された「離職者の居住安定確保に向けた公営住宅の活用について」は、2月2日までに10戸、追加として6戸の市営住宅を準備し、入居していただいた。

税収の見通しについて

問 税収の見通しはどうか。

答 市税の見込みは、前年度比5億4700万円余、2・5%の減と見込んでいますが、特に法人税は14億7900万円余となっており、前年度比約6億円、27・6%減の見込みである。企業収益の減少、雇用情勢の悪化している中、今後さらに徴収環境が厳しくなり、市の財政も財源も非常に厳しい状況になっていくだろう。

定額給付金について

問 定額給付金支給に伴うプレミアム商品券の発行はどう考えているか。

答 定額給付金実施に合わせ、期間限定のプレミアム商品券を発行していく方向で、商工関係団体等と具体的な内容について調整している。

意見 6月の肉付け予算に向けて、この経済不況に対し関係機関、団体と協議され取り組まれない。

松阪牛の中国商標登録について

問 昨年から松阪牛の対中国商標登録に関し、その後の経過は。

答 「松坂」や「松板」が登録申請され、松阪に牛のロゴマークが入った商標が2001年に登録されていることから、松阪牛連絡協議会が主体で、これらを中国現地の代理人を通じて、異議申し立てや登録の取り下げの準備を進めている。



松阪牛



松田 俊助  
議員

(市民クラブ)

松阪市条例について

問 今回は、出来レースをしているとの誤解を防ぐこと、緊張感をもったやりとりをするため、大きな見出しのみで質問書を提出した。まず条例とはいかなるものか。また、鈴の森公園での出陣式は、許可書どおり時間を守られたのか。

答 条例は議会の議決を経て得たものであり、当然守らなくてはならないものである。また、違反すれば関係当局の処罰がある条例もある。そして、出陣式が延長してしまった部分に関してはおわび申し上げる。

市民病院問題について

問 市民病院の高性能CTスキャンについて、320列を導入することで議決したとの認識であるがどうか。

また、意見聴取会を開く意義は。  
答 機種選定委員会を後日開くという前提での議決であり、最終的に病院として128列がよいという結果になった。意見聴取会については、議論が煮詰まっており、また、ここまです意見交換が出来ており、早く結論を出したいと思った。今後も松阪市の医療体制をどうするのか、松阪市民病院の公的病院としての役割をどうするのか、院長ともしっかり話し合いたい。

の医療体制をどうするのか、松阪市民病院の公的病院としての役割をどうするのか、院長ともしっかり話し合いたい。



128列X線CTを導入することが決定した松阪市民病院

マニフェストについて

問 マニフェストで公約している借金時計とは一体何なのか、何のためにつくるのか。

答 屋外に、市民の方、市役所の職員、そして私自身も常に意識できるように借金時計を掲げさせていただく。設置にはお金がかかるので、できるだけスポンサーをつけたり、付加価値をつけることも考えていきたい。  
意見 借金時計をつくらなくても、毎月市民一人ひとりの自宅に届く広報誌に出せばいい。無駄を省くという意味でも、広報誌へ載せていただくことを要望する。



前川 幸敏  
議員

(公明・自由クラブ)

都市計画（線引き）について

問 旧三雲町は今まで非線引きだったので、町全体に宅地化が進んでおり、

その中で線引きをすると、調整区域になる地区は、担保価値が下がり、銀行から融資を受けている方、また受けようとする方は今までのように融資が受けられなくなる。いろんな問題点が発生する中、県と相談をされるということだったが県の指導はあったのか。

答 まちづくり全体のことであれば線引きの決定権者である県も協議をさせていただけるが、個人的な土地問題に関しては具体的な指示はもらえないと思う。

問 線引きによりどのような問題が発生するのか、いろんな意見を聞いて情報収集するのが第一だと思うが、三雲地区で問題点の情報収集はされたのか。

答 三雲地区での情報収集はしていないが、協議としては市街化区域、市街化調整区域の協議を中心に行わせてもらっている。ある程度の範囲が決まったら説明に行かせていたたく、今は詳細に回答のできる状態ではない。

問 線引きの県への報告はいつするの

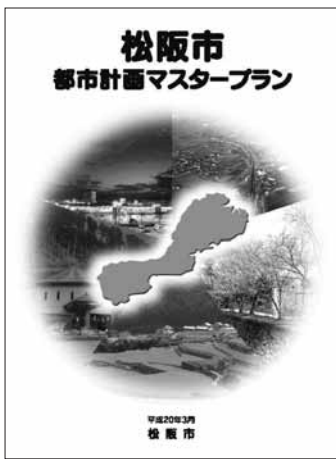
答 平成21年度の初めころには公表を考えており、その後、全体の住民の意見を聞く公聴会等を開催し、21年度中には住民や関係機関の協議を終え、平成22年度には県に対して報告していききたい。

問 線を引きることによってたくさん問題点が出てきた。また、旧松阪市においても40年前につくられた線引きで、たくさんさんの要望をもらっている。これらの問題点は松阪市で解決してくれるのか。

答 松阪市全体の住民の意見交換会の場を設けて説明をし、理解をいただけるようにしていきたい。

その他の質問事項

- ・ 行政と議会の関係について
- ・ 市の所有する土地に駐車する職員の車について



川口 保  
議員

(ネクスト松阪)

マニフェストの基本的な考え方について

問 マニフェストは有権者との契約である。ここに掲げた40項目は全て1

期4年の任期中に実現しなくてはならないが、もし1つの項目でも実現できなければ市長として失格という烙印が押される。市長はこういった認識を持ってみえるのか。



マニフェストは有権者との契約

答 私もマニフェストは市民の皆さんとの契約であり、また、基準であると思っている。マニフェストを守ることで市民生活が悪くなる可能性があるかも知れないが、守ることによってプラスになる部分も、守らなかったことでプラスになる部分も、守ったことで悪くなった部分も市民が評価し、議員の皆様方にもチェックしていただく。

「マニフェストを守ることで市民生活が悪くなってはいけない」という答弁があったが、マニフェストは市民生活をよくするために書くものと思う。今の時点で、市民生活が悪くなるのであればマニフェストを変えることになるのか。

問 マニフェストはしっかりと守っていく方向で、現在打ち合わせており、40項目を総合計画、実施計画との整合性を含めて守っていききたいと思っている。ただ、守ることで悪くなったらどうするか、その決断も含めて市民の方々に4年後の選挙で判断していただくことになる。

問 この中には、後で検証のしやすい内容と、検証のしにくい内容がある。何々を推進するとか、強化するなどの項目はどのように検証するのか。

答 今後40項目に関しては必ず検証していかなくてはいけない。どこまで実現できたか。この部分が前より進歩した。ここが市民にとってプラスになった。など主観的な部分もあるが、それをわかりやすく市民の方に提示する責任があると思う。

問 マニフェストを遂行していく上で、1年毎くらいに進行状況をチェックする検討委員会のようなものを設置するのでもいいと思うがどうか。

答 前向きに検討したいと思う。議員の皆様にもそういう中でいろいろな役目をしていただきたい。



久松 倫生  
議員

(日本共産党)

雇用問題への  
取り組みについて

問 記者会見で、情勢の把握と市として課題や対応を検討していくと言われている。重要なことは「雇用破壊」と言われるこの事態をどうとらえるかであるが、今は派遣切りなど解雇を前提にセーフティネットをどうするかにならざるを得なくなっている。これ以上の解雇を許さない、特に大企業の社会的責任を果たさせるということが重要であるが、国の対策、派遣法の改正など、市長の考え方は。

答 国は、雇用に関して政策全般にわたる必要な施策を十分にしているとは思わない。労働行政に私自身もしっかり提言し、労働者派遣制度の見直しについても意見を伝えていきたい。

山里の未来創造事業について

問 市長のマニフェストにある日本一きれいな川に「榎田川流域プロジェクト」や「地域の足を守る」の内容は、この事業と関連するものと受け止めるがどうか。また、「山里の未来創造事業」を進めることが市長の政策実現につながるのではないか。

答 山里の未来創造事業は今後も重点

事業と位置付け、肉付け予算でしっかり提案させていただき、庁内の体制づくりの整備を図っていきたい。

歴史と文化のまちづくり  
「歴史まちづくり法」の  
取り組みについて

問 マニフェストに『歴史と文化にあふれた松阪の町並みを今後もしっかりと保存』や『松阪は歴史と文化もある。景観条例や殿町の地区計画をはじめ、多くの到達点を踏まえて提起してきたのが「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」（歴史まちづくり法）への取り組みの提案であり、前進を図っていただきたいと思うが考えは。

答 松阪の歴史文化についてはしっかりとした計画を立てて守っていかなくてはならない。ハードルは高いが、ある程度前向きな形で検討していく。



城跡整備をはじめ、しっかりした計画が求められる松阪の歴史と文化のまちづくり

環境対策の市民運動化・  
不法投棄対策



山本 節  
議員

(公明・自由クラブ)

問 昨年、緑のカーテンコンテストやクールアースデー等を提案したが、今後は一般市民を巻き込んだ環境対策の市民運動化を図るべきだと思つ。また、不法投棄についてもさらに対策が必要と思うが考えは。

答 緑のカーテン運動は地球温暖化防止対策としてすばらしい手段だと思つ。今後は一般市民や事業所に対しても取り組んでいただくよう啓発活動を広げていきたい。また、クールアースデーでのライトダウンやフードマイレージ、ウッドマイレージ等さまざまな環境対策があるので、モチベーションを高める方法を今後打ち出していきたい。不法投棄対策については全市的に集約できる「不法投棄監視ウィーク」を設置し、さらにゴミの減量・分別の促進、ごみ袋指定化や有料化を考慮していかなければならないと思つ。

広告事業拡充について

問 自主財源確保の手法として平成18年3月議会において広告事業の提案をし、種々の媒体に広告を掲載して

いただいたが、さらなる拡大についての考えは。

答 広告収入事業としてさまざまなアイデアもあると思われることから、他自治体の事例も考察し、いいものは取り入れていければと思つ。

市としてのメディア戦略

問 全国最年少の山中市長が誕生され、マスメディアが全国発信をし、かつてないほど松阪市をPRしていただいた。これを機に、アイウエーブ、ユーチューブを活用した市長記者会見の放映や日々の活動を報告するブログの立ち上げなど、特産品や観光面等を含め、全般的にメディア戦略に取り組むべきだと考えるがどうか。

答 記者会見に関しては、早速、記者クラブに申し入れを行った。メディア戦略については今後、しっかりとアピールしていく必要がある。



行政チャンネルで放映しては？  
注）イメージ画像





海住 恒幸  
議員

(会派に所属しない議員)

白猪山に計画されている風力発電に  
対する松阪市の姿勢について

問 白猪山には2つの風力発電が計画

されている。風力発電は二酸化炭素を削減するクリーンエネルギーのイメージはあるが、実は全国各地で風力発電の風車周辺に住む住民から頭痛とか不眠などに代表される体調不良を訴える報告が相次いでいる。いわゆる、「風車病」と呼ばれる症状である。白猪山に計画されている2つの計画に対しても、不安に思う人が相当数いると思うが、松阪市としては、2つの風力発電計画に対して、どのような姿勢で臨んでいるのか。

答 単に地域の地権者の方々、自治会が推進しているからそれでよしとするのではなく、地域の人以外にも影響がある問題として、市民の意見をしっかりと聴かせていただいた上で推進していくべきなのか、一回止めてしまふべきなのか、慎重な判断が必要になると考えている。

問 環境部長は昨年9月の議会答弁で、環境保全審議会で低周波音についても議論があったように答弁しているが、実際は議論されていない。開発業者が、民家から1キロ以上離れているから影響がないと言っているだ

け。それをうのみにするのか。

答 私どもも、低周波問題については独自に調査をしたい。低周波の影響の有無について、距離的な問題等々、影響評価をしたい。環境保全審議会でもう一度、市としての見解を示していかなければならない問題であろうと思っている。

問 市長が同意する場合の基準は何か。

答 環境保全審議会の議を経て、承認

または不承認を市長が決定する。

問 メリット、デメリットが決め手となろうが、行政ではなく、全部、業者が説明会を開いている。地元では、正しい知識がないところで誤った期待を持っている。市民が誤った判断をしてはいけない。行政として責任を持って対応していかなければならないが、市長の考えは。

答 松阪市が独自に責任ある調査を行い、市民の幅広い検討の上、専門家の意見も交え最終的な判断をしたい。



既設の風力発電施設



小林 正司  
議員

(政友会)

市政運営と肉付け  
予算編成について

問 山中市長は、市の総合計画について、どう考えているのか。

答 市民や議員の皆様からの意見、提案を含めた上で検討を行い、10年後、20年後を考えた総合計画を総合計画審議会により進めていきたい。

問 住民協議会の今後の進め方は。

答 現在10地区で設立されている松阪市の手挙げ方式によるメリットは、自分たちでつくったことで、地域に対して理解が得られやすいのに対して、名張方式でのメリットは短期間で設立できること。現行の方式では設立している地域、していない地域が共存し、補助のあり方も不明確な状況で、これが長く続くことは望ましくなく、見直すべき部分もある。



高齢者運転免許自主返納制度  
の導入について

問 高齢者ドライバーの事故を減らすため、高齢者の運転免許の返納を促す取り組みが他市で実施されているが、本市での導入は。

答 課題もあるが、調査研究をしていきたいと考えている。しかし、高齢者の方々



者の方々が返納することも大切であり、警察とも連携しながら、広報について対応していきたい。

がん検診と特定健診の  
推進について

問 平成20年度のがん検診、特定健診の実施状況と今後の取り組みは。

答 がん検診の受診率は、対象者への周知が遅れたことなどにより、乳がん、子宮がん以外減少した。また、本年度より義務化された特定健診は、受診率の目標値を設定していたが、生活習慣病に着目した健診で検査項目が少なく、県下統一での準備、調整の遅れ、健康診査に対する意識の低さなどから、未達成となった。今後は、がん検診等の受診期間の拡大や休日の実施等も検討し、また、がん検診等の必要性のPRを行い、検診率の向上に取り組んでいきたい。

意見 人命にかかわる検査であるので、検査項目の拡大をお願いしたい。



中島 清晴  
議員

(ネクスト松阪)

一般質問は職員がつくっていた？

問 市長就任3日後の新聞記事「職員が一般質問をつくる」。首長として非常に軽い発言であると思うが、この真意・根拠は何か。

答 根拠は何もない。この発言の影響は結果としてよかったと思つ。逆に、後ろ暗いことがなければこんな疑惑が生じると思つていなかった。

これまでメモのやりとりや確認行為に係る添削等といったものはあったが、これは相互間の情報共有の範囲というものであり、職員がつくったという事態はなかった。

実施計画の変更について

マニフェストとの関連は

問 総合計画の実施計画は今後3年間限られた財源の中で財政的な裏付けをもって、その優先性や緊急性を明らかにした中で行政が市民に対して約束したものである。その上に市長選でのマニフェストを実行し、10年間で1300億円の借金を半減するという公約を実現させていくとなると、実施計画をどう見直していくのか。

重点事業である「保健医療福祉総

合センター」の方向性はどうか。  
答 今後の財政見直しを含め、マニフェストの優先順位・整合性も考慮し、具体的な議論は5月議会の肉付け予算でしっかりと出していきたい。保健センターをつくれれば解決するという問題ではない。建てる建てないを含め、意見聴取会を開き市民の意見を聞いた上で再検討・再構築していく。

振興局の機能強化

問 マニフェストに「合併地域のしわ寄せは振興局の機能強化でプラスに転化。地域行政のプロを配置」とあるが具体的な方策は。

答 実際、合併したからといって痛みが生まれたとは思っていない。振興局だからどうこうではなく、地域で本当に様々な痛みをもっている部分に対してしっかりと現場の声を聞いて取り組んでいく。



振興局の機能強化とは

「合併後の地域に地域の輝きを取り戻します」について

問 合併し、5年間の猶予措置を持ちながら、それぞれの展開を今まで図ってきた。地域の声を何より優先させた地域づくりについて、地域行政のプロを振興局に配置し、本庁の許可を得なくても進めていける裁量権を拡大し、本庁との役割分担を明確にするということだが、考え方は。



安達 正昭  
議員

(清志会)

答 これまでは、地域内のことを町長地域の行政が把握していればいいという中で、住民の声をいかに地域振興局が吸い上げるかが問題で、住民協議会と地域振興局、また本庁と地



合併後の地域に「地域の輝き」を

域振興局との連携、地域の方々からの声の吸い上げ方等さまざまな議論も踏まえた上で、地域住民の声を振興局に対して反映できるシステムづくりを考えていかなくてはならない。意見 地域は地域として活性化してもらわなければならない。これからのような意味で、いいアイデアを注入し、合併して良かったと言ってもらえるよう努力していただきたい。

「女性や高齢者の皆さんが頑張れる社会にします」について

問 私は2年前、不妊治療について質問させていただいた。県は早く取り入れ支給対処し、松阪市も実施しているが上限はいくらか。

答 平成16年から始まり、国の所得制限額は730万円、その補助を受け県が実施している。また、三重県は300万円を所得制限額と定め、その補助を受け松阪市が実施しており、1回当たりの助成額の上限が10万円、1年間に20人位がこの制度を受け治療している。

問 所得が300万円以上の場合、桑名市、伊勢市の方は支給されるが、松阪市は上限が300万円を支給されない。このことについて見解は。

答 不妊治療の問題、少子化の中で、不妊治療に対して松阪市が県や国からの補助がどうこうではなく、取り組む必要がある。各地域、県の補助の状況、市の現状なども改めて調査し、検討させていただく中でまた返答したいと思う。





田中 祐治  
議員  
(政友会)

**松阪市のビジョンについて**

問 山中市長はどのような都市像を描いて市政を運営していくのか。

答 「日本で一番魅力的な田舎町」市民が幸せと感じられるまちづくり。地域活性化には、地場産業に目を

問 向ける必要があるのではないかと。地場産業をしっかりと育成していく中で、企業も参入してくる土台が

答 できてくると思っている。

問 市民サービスと財政は表裏一体の関係にある。市長はどちらを優先するののか。

答 長期的に見れば、市民サービスの向上が、人口の増加や企業誘致を進め、税収に対しても貢献できる。

問 建て替えも視野に入れながら、サービス課題を含め、計画を展開していく必要があるのではないかと。

**篠田山斎場について**

問 適切なメンテナンスを行いつつ、施設の延命効果を図っていききたい。

答 市内ショッピングセンターの水質問題を受けて

不安や痛みを抱えた市民がたくさ

**市内ショッピングセンターの水質問題を受けて**

問 不安や痛みを抱えた市民がたくさ

ん出たが、松阪市の対応は。

答 市と県が共同して取り組むということになれば市も動かざるを得ない。

問 松阪市は何も動かなかった。行政への信頼は、経済的な面まで影響が出る。「安心して生活できる・信頼

される松阪」をつくっていくために今後、市長はどう対応していくのか。

答 松阪市の中で起こったことは責任を持たなければならぬ。相談窓口を臨時に設けるなどの取り組み、食

問 自のかかわり方を考えていく。

入札制度について

**入札制度について**

問 市長の公共事業と入札制度に対する見解と今後の方向性は。

答 公共事業は社会資本整備の中で非常に重要。最低制限価格制度、くじ

問 入札の問題等を含め、透明性が図れる入札制度をつくっていききたい。



業務開始後25年が経過し老朽化が進む篠田山斎場



田中 力  
議員  
(市民クラブ)

**「職員が議員の一般質問を作成する」という新聞報道について**

問 新聞によると「一部の市議は資料提供だけにとどまらず、市職員に質問の内容を考えさせ、原稿を作成させたり、再質問の内容をつくらせたり、出来レースを本会議で演じていた」と断定的に言われている。どうして認識されたのか。

答 一般質問に臨む上で、議員の皆様から厳しいチェックを受けるため、適切な緊張関係を持っていただきた

問 市民病院CT機種導入問題について

問 機種選定委員会の結論を受けて、市民による「意見聴取会」を開催されたが、何人の方が参加されたのか。

答 正式な参加人数はわからないが、大体60名くらいと言われている。

問 わずか60人の意見を聞いて、市民の声を聞いたことになるのか。

答 市民のすべての意見を直接聞くのは難しい。ある程度問接民主制を補完する形で、住民の意見交換会等を開いていききたい。また、応募については市民の方全員に伝わるような形

問 公務と私事、どちらを主にし

て政務を司るのか

問 2月11日、市役所の5階で県主催の駅伝大会の結団式があった。市長として出席し、激励すべきものと考え

答 2回同じ機会があるので、教育長にお願ひし、私自身はあえて東京の「国民運動体」に行った。多くの知識人やメディアの方々も来ていて、松阪市のアピールにもなると思った。決断は間違っていなかったと思う。

問 2月20日の新聞報道について

問 市長の一言一言が非常に軽く、発言に注意してほしい。また、途中で放り出してしまつようので心配するが、市長として4年間やるのか。その決意は。

答 私自身は4年間しっかりと市長を務めさせていただく。



市町対抗駅伝松阪市代表選手結団式  
(平成21年2月11日)

問 市長の一言一言が非常に軽く、発言に注意してほしい。また、途中で放り出してしまつようので心配するが、市長として4年間やるのか。その決意は。

答 2月11日、市役所の5階で県主催の駅伝大会の結団式があった。市長として出席し、激励すべきものと考え

答 2回同じ機会があるので、教育長にお願ひし、私自身はあえて東京の「国民運動体」に行った。多くの知識人やメディアの方々も来ていて、松阪市のアピールにもなると思った。決断は間違っていなかったと思う。

問 2月20日の新聞報道について

問 市長の一言一言が非常に軽く、発言に注意してほしい。また、途中で放り出してしまつようので心配するが、市長として4年間やるのか。その決意は。

答 2月11日、市役所の5階で県主催の駅伝大会の結団式があった。市長として出席し、激励すべきものと考え

答 2回同じ機会があるので、教育長にお願ひし、私自身はあえて東京の「国民運動体」に行った。多くの知識人やメディアの方々も来ていて、松阪市のアピールにもなると思った。決断は間違っていなかったと思う。

問 2月20日の新聞報道について

問 市長の一言一言が非常に軽く、発言に注意してほしい。また、途中で放り出してしまつようので心配するが、市長として4年間やるのか。その決意は。

答 2月11日、市役所の5階で県主催の駅伝大会の結団式があった。市長として出席し、激励すべきものと考え

答 2回同じ機会があるので、教育長にお願ひし、私自身はあえて東京の「国民運動体」に行った。多くの知識人やメディアの方々も来ていて、松阪市のアピールにもなると思った。決断は間違っていなかったと思う。

問 2月20日の新聞報道について

問 市長の一言一言が非常に軽く、発言に注意してほしい。また、途中で放り出してしまつようので心配するが、市長として4年間やるのか。その決意は。

答 2月11日、市役所の5階で県主催の駅伝大会の結団式があった。市長として出席し、激励すべきものと考え

答 2回同じ機会があるので、教育長にお願ひし、私自身はあえて東京の「国民運動体」に行った。多くの知識人やメディアの方々も来ていて、松阪市のアピールにもなると思った。決断は間違っていなかったと思う。

問 2月20日の新聞報道について

問 市長の一言一言が非常に軽く、発言に注意してほしい。また、途中で放り出してしまつようので心配するが、市長として4年間やるのか。その決意は。

答 2月11日、市役所の5階で県主催の駅伝大会の結団式があった。市長として出席し、激励すべきものと考え

議案の審議

常任委員会の審査から

2月定例会に提出された議案は、本会議で質疑のあと、それぞれ各常任委員会に付託され、慎重に審査されました。各委員会における主な質疑応答、意見は次のとおりです。

総務生活

平成21年度一般会計の  
予算編成について

問 骨格予算における予算編成において、通年の予算を計上しているのか、それとも3カ月分の政策的な予算を計上しているのか。

答 今回の骨格予算では、法令等に基づく義務的経費や經常経費を中心に通年の予算編成をしているが、債務負担行為設定の事業、事業実施がすでに決定されている継続的な事業は必要最小限にとどめ、極力、政策的経費を控えた予算となっている。

市民活動センターの  
指定管理者制度について

問 現在、市民活動センターは指定管理になっているが、市直営に比べるとどれくらい経費に差があるのか。また、借上料の内訳は。

答 3年前、指定管理を始めた時の試算によると、300万円程度の人件費が節減されている。また、月額借上料の内訳として、約120坪の

フロアの借上料が、基本料金として坪当たり5145円の61万7400円、共益費が18万9000円、駐車場代が26万6175円であり、年間総額1287万9000円である。

防災無線整備事業について

問 防災無線整備事業における一連の新聞報道について、記事では日立国際電気、ビーム計画設計と市の3者合意のもと、出荷前検査をカットしたと書かれていたが事実なのか。

答 中間出来高検査については、市では専門職員がいなかったため施工監理ということではビーム計画設計にお願いをしている。出来高を確認する中で、日立国際電気とビーム計画設計の両者で工場検査と現地検査の仕分けが行なわれた。それを受けて3月4日に工場検査を実施し、26日がビーム計画設計による事前検査、27日が現地の出来高検査の予定であり、今回は新聞報道を受けて日立国際電気とビーム計画設計に対して、その内容の回答と工事の進捗及び工事管理の改善並びに適切な施工監理の対応を文書で強く求めた。

松阪市中川新町地域交流センター  
基金条例の制定について

問 地域交流センターに要する経費とこの基金の範囲の範囲のものなのか。

答 組合から地域交流センターの管理運営に使ってほしいという希望を受け、この条例の目的を逸脱しない範囲でなるべく地域のために使いたい。また、予算上では地域交流センター管理運営事業費に計上すべきものに充てられるが、性格的にどういうものに充てるのか、どのくらいの割合で充てるのかはこれから協議をしていく。地域の思いもあるが、逆に従来の全市的なバランスも見ていく必要もあり、考え方を整理していく必要がある。

松阪市市長及び副市長の給料、  
旅費等に関する条例の  
一部改正について

問 市長のマニフェストで市長の給料をカットするということが条例提案をされているが、副市長の給料については副市長も市長と一心同体であるとの提案理由であったが、そのとおりであるのか。

答 市長が本会議で申し上げた財政健全化の一環として、副市長も一体性を持って望むべくということと答弁をしたとおりである。

環境福祉

療育センターについて

問 療育センターの施設整備等、今後の方向性は。

答 今後については、障がい者計画の見直しを行っており、平成21年度から協議することになる。

保健医療福祉総合センターについて

問 保健医療福祉総合センター建設基金の積み立て状況と、建設はどのようになっているのか。

答 平成19年度末で11億6972万9619円である。建設計画については、市民から保健医療福祉総合センター建設の要望があり、基金は積み立てていくが、先日的一般質問の答弁で、市長は白紙に戻し、意見聴取会を開き市民の意見を聞いていくという方向を示している。

放課後児童クラブについて

問 放課後児童クラブの今後の整備予定は。

答 放課後児童クラブは、現在22クラブが開設されており、連絡協議会を組織して情報交換を行い進めている。市のスタンスは公設民営の位置づけの中で保護者が主体的に進めていただくのが基本である。今後、小学校等で開設したい場合は、基本的には保護者を立ち上げて運営等を行っていただくことになる。



**保育園入園について**

問 保育園入園待機児童の対応は。  
答 待機児童は0歳、1歳、2歳が多いので三雲北保育園の子育て支援センターの遊戯室を保育室として対応していく。

問 保育園入園について、景気悪化の中で緊急措置の対応は。  
答 緊急対応については、4月分では定員の115%、5月になるとそれの10%アップという中で入園措置をしていく。

**嬉野地区し尿処理事業について**

問 嬉野地区し尿処理事業にかかる委託料の支払いはいつまでか。  
答 松阪市と津市との間における「ごみ処理事務及びし尿処理事務の委託に関する規約」により、松阪市が津市クリーンセンターもずから引き上げるとい話を出した時点で終わることになっている。また、松阪地区広域衛生センターの能力は、今現在で満タンであり、嬉野のし尿を引き上げるに当たって、地元住民との協議、機械の増設等検討に入っている。

**香肌奥伊勢資源化広域連合分担金について**

問 香肌奥伊勢資源化広域連合分担金の値上げの内容は。  
答 RDFの関係の処理委託料で飯高・飯南の分が7万1000円の値上げになっている。また、今後は1トン当たり平成21年度526円、22年度

から1076円、最終が28年度で4362円の値上げになり、最終の28年度は1トン当たり9420円の処理料になる。

問 RDF事業について、本来市が負担すべきものでなく県の責任と考えるが見解は。  
答 RDFの発電事業が始まった経過を考えると、県の負担でお願いしたいのが構成市町の考え方であるが、15年間を想定したモデル事業で平成28年度以降の県のかかり方は、発電事業には参加しないような意思表示である。しかし合意事項で県が半分、構成市町が半分負担するということでこの金額となっている。

**焼却施設整備事業について**

問 焼却施設整備事業費の延命工事はいつまで続くのか。  
答 平成28年度中に建設が完了する予定であり、その間の延命を図っていくものである。相当老朽化が進んでいるので、ここ数年は多額の整備が必要である。

問 コミュニティバスの運行費用と比較するとかかなり高いが、コミュニティバスへ変更していく考えは。  
答 児童生徒の通学バス化している路線もあるが、沿線の地域の方とも協

**文教経済**

**廃止代替バス路線について**

問 コミュニティバスの運行費用と比較するとかかなり高いが、コミュニティバスへ変更していく考えは。  
答 児童生徒の通学バス化している路線もあるが、沿線の地域の方とも協

議を行っており、将来的にはコミュニティバス化を考えている。

**ベルファームについて**

問 ベルファームの施設管理委託料が平成21年度は5000万円に減額されているが、今後も減っていくことはあるのか。  
答 指定管理者の選定委員会の中で、指定期間である平成21年度から23年度までの委託料を5000万円にするという指定管理者が提案してきたもので、それを上限とするとの募集要項に基づき、平成21年度から減額となった。その後は新たに公募による選定の段階で提案されてくる。

**食の安全安心対策について**

問 松阪肉の偽装問題における今後の対応は。  
答 誠に残念なことと受け止めている。松阪牛の安全・安心については、松阪牛个体識別システムにより三重県松阪食肉公社で管理されており、出荷に当たっては松阪牛シール等により安全・安心なものとして表示している。ブランドへの影響については、風評被害も考えられるので、関係団体とともに、松阪牛の安全性をより一層PRしていきたい。

**健康診断事業について**

問 園児・児童・生徒の健康診断事業として、一般質問で小学校4年生での心電図検査を提案したが、その後どのようになっているのか。  
答 園児・児童・生徒の健康診断事業として、一般質問で小学校4年生での心電図検査を提案したが、その後

答 医師会や学校保健会の養護部会で話しを伺う中で、すぐに体制を整備するのは難しいが、小学校4年生で心電図検査を行った方がより子どもたちの健康保持には役立つということである。しかし、実施するとなると、健診センターの体制の整備、学校での時間的な負担や女子児童への配慮なども必要であるが、他市の状況も参考にしながら、前向きに今後さらに検討していきたい。

**部落史編さん事業について**

意見 医師会も必要と言っており、子どもたちの命にもかかわることから、早急な実施をお願いしたい。

**競輪事業特別会計について**

意見 全国に発信することや史料に基づき勉強したい人もいることから、何としてでも進めていただきたい。

問 競輪事業財政調整基金への1億2000万円の積立ては評価できるが、一般会計へ繰出す場合の基準はあるのか。  
答 一般会計への繰出しの基準はない。平成19年度は47競輪場のうち、松阪競輪も含め38競輪場で開催収支が赤字で、そのうち4競輪場は開催外収入を入れても赤字で非常に厳しい状態が続いており、先行き不透明な競

輸事業であることから格別のご理解をお願いしたい。基準については上部団体とも協議していきたい。意見 基準は設けた方がよいと思われるので、検討していただきたい。

建設水道

松阪駅西地区市街地再開発事業

について

問 松阪駅西地区市街地再開発事業が白紙となったことで中心市街地活性化基本計画は見直されることになる。現状では中心市街地活性化基本計画の中に松阪駅西地区市街地再開発事業の区域が含まれているが、今後、この区域をはずしていく考えはないのか。

答 中心市街地活性化基本計画は、ワーキンググループや策定委員会を立ち上げ策定してきた。基本計画の区域は170ヘクタールで、その中に松阪駅西地区市街地再開発事業の1・5ヘクタールは含まれており、この区域をはずすことは考えていない。問 松阪駅西地区市街地再開発事業の区域1・5ヘクタールについては、あくまで再開発事業の手法を取り入れていくのか。

答 松阪駅西地区市街地再開発事業の区域は再開発をしていくということから都市計画決定をしていることから再開発事業としての位置づけに何ら変わりはない。

水道事業会計予算について

問 近年、市民においても企業においても節水意識等により、水需要が減少してきていることから、南勢水道や中勢水道からの受水量を減らすことは考えていないのか。

答 南勢水道からの受水量は約6100立方メートルであるが、この水量に対応した施設や配水管等が整備され稼働していることから、縮小することは難しい状況である。また、中勢水道からの受水量は約12800立方メートルで、このうち8300立方メートルが長良川水系からの水量である。この長良川水系の水量は10200立方メートルに増加する計画があったが、県との協議により現状の8300立方メートルのままで維持していくこととなった。なお、受水費については、平成21年度に見直しの協議が行われることから、受水団体と協力して県に対し料金の引き下げをお願いしていきたい。

公共下水道事業会計予算について

問 年々、計画処理区域面積が減少してきているように思われるが、市としての最終年度の見直しはいつ頃と考えているのか。

答 計画処理区域面積を100ヘクタールから85ヘクタールに減らした経過があるが、85ヘクタールの整備をこのまま進めると全体計画が終わるのは平成70年頃と見込んでいる。なお、事業認可を拡大し

ていく上で、将来的に計画処理区域面積の見直しも考えられる。

問 企業債の残高は年々増加傾向にあるが、500億円に到達する時期はいつ頃なのか。また、他会計補助金においても年々増加傾向にあるが、どの程度まで上昇していくのか。

答 下水道の整備計画では企業債残高のピークは平成27年度に約506億円になると見込んでいる。また、他会計補助金については、元利償還金のピークが平成30年なかばで約40億円と見込まれることから、その頃まで増加していくと思われる。



可決したもの

- ▼平成21年度松阪市一般会計予算
- ▼平成21年度松阪市競輪事業特別会計予算
- ▼平成21年度松阪市国民健康保険事業特別会計予算
- ▼平成21年度松阪市老人保健事業特別会計予算
- ▼平成21年度松阪市介護保険事業特別会計予算
- ▼平成21年度松阪市後期高齢者医療事業特別会計予算
- ▼平成21年度松阪市簡易水道事業特別会計予算
- ▼平成21年度松阪市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計予算
- ▼平成21年度松阪市農業集落排水事業特別会計予算
- ▼平成21年度松阪市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
- ▼平成21年度松阪市ケーブルシステム
- ▼平成21年度松阪市水道事業会計予算
- ▼平成21年度松阪市松阪市民病院事業会計予算
- ▼平成21年度松阪市公共下水道事業会計予算
- ▼平成20年度松阪市一般会計補正予算(第5号)・(第6号)
- ▼平成20年度松阪市競輪事業特別会計補正予算(第3号)
- ▼平成20年度松阪市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ▼平成20年度松阪市老人保健事業特別会計補正予算(第3号)
- ▼平成20年度松阪市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ▼平成20年度松阪市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
- ▼平成20年度松阪市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ▼平成20年度松阪市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)



- ▼平成20年度松阪市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- ▼平成20年度松阪市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)
- ▼平成20年度松阪市ケーブルシステム事業特別会計補正予算(第2号)
- ▼平成20年度松阪市水道事業会計補正予算(第3号)
- ▼平成20年度松阪市松阪市民病院事業会計補正予算(第3号)
- ▼平成20年度松阪市公共下水道事業会計補正予算(第2号)
- ▼平成20年度松阪市定額給付金給付事業特別会計予算
- ▼松阪市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について
- ▼松阪市交通安全対策事業基金条例の制定について
- ▼松阪市知的障害者通所授産施設嬉野ゆうゆう条例の制定について
- ▼松阪市中川新町地域交流センター基金条例の制定について
- ▼松阪市個人情報保護条例の一部改正について
- ▼松阪市地域集会所条例の一部改正について
- ▼松阪市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について
- ▼松阪市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部改正について
- ▼松阪市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- ▼松阪市税条例の一部改正について
- ▼松阪市立保育所条例の一部改正について
- ▼松阪市放課後児童クラブ施設条例の一部改正について

- ▼松阪市介護保険条例等の一部改正について
- ▼松阪市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について
- ▼松阪市リバーサイド茶倉条例の一部改正について
- ▼松阪市営住宅条例の一部改正について
- ▼松阪市防災センター及びコミュニティ消防センター条例の一部改正について
- ▼松阪市学校給食センター条例の一部改正について
- ▼松阪市特別会計条例の一部改正について
- ▼松阪市市長及び副市長の給料、旅費等に関する条例の一部改正について
- ▼財産の無償譲渡について
- ▼訴えの提起について
- ▼市道路線の認定について
- ▼市道路線の廃止について
- ▼市道路線の変更について
- ▼三重県自治会館組合の共同処理する事務の変更及び三重県自治会館組合の規約の変更に関する協議について
- ▼松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について(松阪市市民活動センター)
- ▼松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について(宮前診療所)
- ▼松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について(飯高歯科診療所)
- ▼松阪市議会議規則の一部改正について

承認したもの

- ▼専決処分の承認について
- ・松阪地区広域消防組合の規約変更に関する協議について
- ・松阪地区広域衛生組合の規約変更に関する協議について

同意したもの

- ▼監査委員の選任について
- 土本 勲氏
- 柳 瀬 滋氏
- ▼公平委員会委員の選任について
- 川 端 康 成氏
- ▼教育委員会委員の任命について
- 小 林 壽 一氏

賛成したもの

- ▼人権擁護委員候補者の推薦について
- 若 山 学 氏

選任したもの

- ▼中心市街地活性化対策調査特別委員会委員(補充)選任について
- 田 中 力 議員

選挙したもの

- ▼松阪地区広域衛生組合議会の議員(補充)選挙について
- 田 中 力 議員
- ▼松阪地区広域消防組合議会の議員(補充)選挙について
- 山 本 芳 敬 議員
- ▼松阪市選挙管理委員及び補充員選挙について

選挙管理委員

- 加藤 康 之氏
- 鈴木 三恵子氏
- 在 間 理 氏
- 岡 田 辰 也氏
- 選挙管理委員補充員
- 荒 井 正 裕氏
- 佐 波 早 苗氏

山 越 一 氏  
柳 瀬 憲 男 氏

請 願

市民の皆様から提出され継続審査となっておりました請願は、2月定例会で次のように決まりました。

不採択となったもの

▼国保税の値上げを中止し、減免制度などの拡充をもとめる請願(継続審査中のもの)

4 月 臨 時 会

4月臨時会は、4月15日・16日の2日間開催され、本会議・委員会を通じて審議されました。

可決したもの

▼平成21年度松阪市一般会計補正予算(第1号)

承認したもの

- ▼専決処分の承認について
- ・平成20年度松阪市一般会計補正予算(第7号)
- ・松阪市税条例等の一部を改正する条例
- ・松阪市都市計画税条例の一部を改正する条例

報告されたもの

- ▼専決処分の報告について
- ・損害賠償の額の決定

皆様の傍聴をお待ちしています

5月定例会の開催日程

5月定例会は、5月29日(金)から6月19日(金)までの会期22日間の日程で開催しています。

5月29日(金)	本会議	平成21年度補正予算(肉付け補正予算)上程・議案上程、提案説明
6月5日(金)	本会議	代表質疑(肉付け補正予算)
8日(月)	本会議	代表質疑(肉付け補正予算)
9日(火)	本会議	代表質疑(肉付け補正予算) ・議案質疑、委員会付託
11日(木)	本会議	一般質問
12日(金)	本会議	一般質問
15日(月)	委員会	環境福祉委員会 文教経済委員会
16日(火)	委員会	総務生活委員会 建設水道委員会
19日(金)	本会議	議決

※本会議は、市役所3階市議会議場で、委員会は2階市議会委員会室で開催いたします。

※時間は、いずれも午前10時から開催の予定です。

※変更される場合もありますので、ご確認ください。

「代表質疑・一般質問」の議会放映

平成21年度の所信・補正予算(肉付け補正予算)に対する代表質疑が6月5日(金)・8日(月)・9日(火)の3日間、また一般質問が6月11日(木)・12日(金)に行われ、それぞれケーブルテレビ(iウェブまつさか)の行政チャンネル(6ch)により、生中継及び録画による放送を行います。

録画放送については、平日の午後8時からの放送予定です。この機会に、ぜひ議会の様子をごらんください。

詳しい日程はケーブルテレビによりお知らせいたします。また、議会事務局にお問い合わせください。

議会のうごき

3月

- 2日 宮川福祉施設組合議会定例会
- 12日 総務生活委員会協議会  
建設水道委員会協議会
- 17日 市議会だより編集委員会
- 18日 環境福祉委員会協議会  
文教経済委員会協議会
- 23日 総務生活委員会協議会  
建設水道委員会協議会
- 25日 第1回定例会閉会(開会2月23日)  
環境福祉委員会協議会  
会派代表者会議
- 26日 多気町松阪市学校組合議会定例会(多気町)
- 31日 会派代表者会議  
総務生活委員会協議会

4月

- 7日 議会運営委員会
- 15日 第2回臨時会(開会～閉会4月16日)  
環境福祉委員会協議会
- 20日 広域衛生組合議会ブロック会議  
広域消防組合議会ブロック会議
- 23日 東海市議会議長会定期総会(豊橋市)
- 27日 広域衛生組合議会臨時会  
広域消防組合議会臨時会
- 30日 建設水道委員会協議会

5月

- 7日 市議会だより編集委員会
- 14日 全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会(東京都)
- 20日 三重県市議会議長会定期総会(伊賀市)
- 21日 議会運営委員会
- 27日 全国市議会議長会定期総会(東京都)
- 29日 第3回定例会(開会)

訂正

市議会だより第24号(平成21年3月1日発行)3ページ上から2段目の12行目から、「地域審議会は市長の諮問による事項を審議するものではなく、それぞれの地域審議会が必要と認められた事項を審議するものである」は、正しくは「現在の地域審議会は市長の諮問による事項を審議しているものではなく、それぞれの地域審議会が必要と認められた事項を審議している」でした。おわびして訂正させていただきます。

編集後記

市議会だより第25号をお届けいたします。  
本号では、2月定例会における一般質問の内容を中心に掲載いたしました。  
市議会だより及び議会放映を見られてのご意見・ご感想を市議会だより編集委員会(松阪市議会事務局)までお寄せください。

お問い合わせ 松阪市議会事務局

電話 53-4433

FAX 23-3962

Eメール gikai@city.matsusaka.mie.jp

発行/松阪市議会

(〒515-8515 松阪市殿町1340番地1)

編集/市議会だより編集委員会